近畿地方

名前

問1　近畿地方の府県別の統計において、農業産出額が1,000億円を超えて他県よりも高く、みかんや梅などの果樹栽培を中心とした農業が盛んな一方、工業製品出荷額は隣接する三重県などの工業県に比べて低い傾向にある県はどこですか。（2018年 熊本県公立入試 類似）

1. 滋賀県
2. 京都府
3. 和歌山県
4. 大阪府

問2　近畿地方のうち、三重県や和歌山県南部などの太平洋に面した地域で見られる気候の特徴とその要因について、正しい説明はどれですか。（2020年 岡山県公立入試 類似）

1. 一年を通じて季節風の影響を受けにくいため降水量の変化が小さく、常に温暖で湿潤な気候が続く。
2. 冬季はシベリア高気圧から吹き出す湿った季節風の影響で雪が多くなり、夏季はフェーン現象により乾燥する。
3. 夏季は南東からの湿った季節風の影響で降水量が多くなり、冬季は山を越えた乾燥した風が吹くため晴天の日が多い。
4. 夏季は北西からの季節風を山地が遮るため降水量が少なく、冬季は暖流の影響で湿った雪が降る日が多い。

問3　「環境こだわり農業」に関する統計資料において、2001年にはほぼ0haであった栽培面積が、2009年には約12,000ha近くまで急増している要因として、最もふさわしい説明はどれですか。（2015年 長野県公立入試 類似）

1. 琵琶湖の水質保全を目的として、農薬・化学肥料の削減や農業排水の管理を徹底する農家が増えたため。
2. 工業用水の需要が高まったことで、農業排水をすべて工業用に再利用するシステムが完成したため。
3. 農業従事者の高齢化に伴い、排水の管理や農薬の散布などの手間を省く農法が普及したため。
4. 海外からの安い農産物に対抗するため、化学肥料を大量投入して収穫量を最大化する方針に転換したため。

問4　兵庫県の人口動態に関する統計資料において、2012年以降、県内へ移り住む人よりも県外へ移り住む人の方が多い状態が続いています。このような、移動による人口の減少を指す用語として適切なものはどれですか。（2019年 兵庫県公立入試 類似）

1. 自然減
2. 転出超過
3. 転入超過
4. 社会増

問5　琵琶湖の水利用と周辺地域の状況について述べた次の文のうち、正しい事実に該当するものはどれですか。なお、人口密度が1平方キロメートルあたり2,000人以上の地域を「高密度地域」と定義します。（2022年 岩手県公立入試 類似）

1. 琵琶湖の水を利用している人の割合は、水源がある滋賀県内よりも、下流にある大阪府の方が高い。
2. 琵琶湖の水は工業専用の用水であり、滋賀県内でも飲み水として利用されることはない。
3. 京都府において琵琶湖の水を利用している人の割合は人口の約3割にとどまり、依存度は低い。
4. 琵琶湖の周辺や下流の大阪府・京都府南部は、いずれも人口密度が低い地域に分類される。

問6　世界文化遺産に登録されている熊野古道周辺の地域では、貴重な歴史的景観を維持しながら地域の発展を図る取り組みが行われています。和歌山県などの自治体が進めている、この地域における「観光」と「環境」の関係についての説明として、最も適切なものはどれですか。（2023年 富山県公立入試 類似）

1. 歴史的な山道や周辺の自然環境を適切に保全しつつ、それらを地域の資源として活用して観光の振興を図っている。
2. 大規模な土地造成を行って山道を舗装し、観光バスが山頂付近まで直接乗り入れられるように整備を優先している。
3. 自然環境を保護するために、観光客の立ち入りを全面的に禁止し、学術調査のみが行われる区域として管理している。
4. 伝統的な景観を重視するため、宿泊施設などの観光に関連する新たな施設の建設を一切認めない方針をとっている。

問7　近畿地方の人口分布や高齢化の状況について述べた次の文のうち、滋賀県の特徴を正しく説明しているものはどれですか。（2019年 茨城県公立入試 類似）

1. 県庁所在地を大津市としており、近畿地方で唯一、高齢者の割合が30%を超えている。
2. 大阪府や京都府への通勤圏として発展しているが、県庁所在地の奈良市を中心に高齢化が急速に進んでいる。
3. 紀伊半島に位置する和歌山県と同様に、農村部の過疎化によって高齢者の割合が非常に高い。
4. 近隣の府県と比較して65歳以上の人口が占める割合が最も低く、大津市に県庁が置かれている。

問8　神戸市の地形図や土地利用図において、内陸部の開発地域と沿岸部の開発地域には密接な関係が見られます。この開発手法の説明として正しい組み合わせはどれですか。（2022年 青森県公立入試 類似）

1. 内陸部：盆地を整備して工業団地を建設 ／ 沿岸部：リアス海岸を利用して港湾を整備
2. 内陸部：扇状地を開発して果樹園を造成 ／ 沿岸部：堤防を築いて海を干拓
3. 内陸部：丘陵地を削ってニュータウンを建設 ／ 沿岸部：堤防を築いて海を干拓
4. 内陸部：丘陵地を削ってニュータウンを建設 ／ 沿岸部：削った土砂で海をうめ立て

問9　大阪平野の中心に位置し、江戸時代には「天下の台所」と呼ばれ、全国の年貢米や特産物が集まる商業の中心地として発展した都市はどこか、次の中から選びなさい。（2017年 群馬県公立入試 類似）

1. 大阪市
2. 京都市
3. 堺市
4. 神戸市

問10　近畿地方北部などの日本海側の地域において、冬の降水量が夏よりも多くなる理由について、季節風の性質に着目して説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2018年 熊本県公立入試 類似）

1. シベリア高気圧から吹き出す北西の季節風が、日本海を渡る際に水分を蓄え、山地にあたって雪を降らせるため
2. 太平洋側から吹く季節風が、中国山地を越えて近畿北部に湿った風として流れ込むため
3. 冬の乾燥した季節風が日本海側でフェーン現象を引き起こし、一時的に大量の雨を降らせるため
4. 小笠原気団から吹き出す南東の季節風が、日本海側の高い山地に遮られて湿った空気をもたらすため

問11　日本の果物生産に関する統計において、和歌山県が全国1位の生産量を誇り、次いで愛媛県、静岡県が上位を占めている果実について、その栽培地域の特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2015年 富山県公立入試 類似）

1. 水はけの良い扇状地が広がる山梨県を中心に、ぶどうの栽培が盛んに行われている。
2. 冬でも温暖な気候を活かし、高知県などの平地でビニールハウスを用いたピーマンの促成栽培が行われている。
3. 温暖な気候と日当たりの良い山の斜面、水はけの良さを活かしてみかんが栽培されている。
4. 夏の冷涼な気候と平坦な土地を活かして、青森県を中心にりんごが栽培されている。

問12　大阪府の産業構造は、工業生産額が全国でも極めて高い水準にある一方で、農業生産額が非常に低いという特徴があります。このような構造になる背景や理由を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2021年 新潟県公立入試 類似）

1. 伝統的に商業活動のみが重視されてきたため、工業と農業のどちらに対しても行政的な支援が一切行われなかったから。
2. 瀬戸内式の気候の影響で降水量が極端に少なく、工業用水の確保に全力を挙げた結果、農業用水が全く確保できなくなったから。
3. 阪神工業地帯の中核として工業化が進む過程で、都市部周辺の農地が宅地や工場用地へと転用されていったため。
4. 大阪府には広大な平野が存在せず、地形の大部分が険しい山地であるため、物理的に農地を確保することが不可能だから。